

保存版

ささえあい



かわら版

はしげじょう
地域名 橋下条

人口 2,435 人	世帯数 801 世帯	町内会数 8 町内会
65歳以上 430 人 (高齢化率) (17.7%)	ひとり暮らし 高齢者数 71 人	
第3層生活支援 コーディネーター 7 人		

※令和4年12月末現在

ささえあい事業の取り組みの経過

- 令和3年 3月 地域支え合いネットワーク事業申請
- 7月 『ささえ愛橋下条』の結成
- 8月 資源マップの作製
- 9月 アセスメントシート作成
- 11月 住民アンケート調査実施（全戸対象）
- 令和4年 1月 住民アンケート集計結果（全戸配布）
- 6月 第1回、第2回 地域課題会議の開催
- 11月 大白町内会さらさらか射水100歳体操始動



1 地域のすばらしさ&不安を話しあおう！

地域課題会議

- 1回目 令和4年6月 5日 参加者：37人
- 2回目 令和4年6月12日 参加者：56人

令和3年11月に全戸アンケートを実施。8町内、635軒を対象、回収率は87.4%でした。この集計結果より地域のテーマとして「安心安全、将来、サービス、交流」というキーワードに基づき、地域での課題を検討する会議を実施しました。



地域がつよみ

- 住民全員の活動・行事やボランティアグループ活動もあり、顔見知りも多く近所付き合いが良い。
- スーパーやお店・コンビニ等が近くにあり、交通の便が良い。
- 地域の行事（納涼祭や運動会など）の参加率が高く、世代間の交流ができる。

地域がよわみ

- 高齢者や一人住まいの人が増えて、付き合いや行事に参加したくない人がいる。
- 旧町内と新町内の交流が少なく、お互いに知らないことが多い。顔を合わせる機会が少ない。
- 地域が広く町内が分散しており、行事への参加や交流に差しさわりがある。

わたしたちができること

常日頃から声掛けなどでコミュニケーションをとることで交流と連携がある地域作りを進める。

学童・生徒の見守り活動ばかりではなく、高齢者や一人住まいの人にも声掛け・見守りをする。

町内で気軽に参加できる活動を増やし、だれもが行事に参加できるよう工夫をする。

2 地域の方向性を決める、活動の羅針盤！

地域づくり計画表

課題（ニーズ）

- 一人暮らし・高齢者だけの世帯が確実に増え住民の交流の希薄化が懸念される。またサークル活動は盛んだが世代交流があまりなく先細りが懸念される。
- 新旧町内の交流が少なく、地域の行事、イベントへの参加意識が低い。

目標（目指す地域像）

- 子供から高齢者まで安心して住め、気軽に交流の場に参加できる地域
- 子供・若者・高齢者をつなぐ地域作り
- 声掛け・見守りなど町内で気軽に参加でき、無関心をなくす活動

計画（取り組むこと）

- ※交流の場作り（地域間のばらつきの解消、および気軽に参加できる場をつくる）
- ・さらさらか射水100歳体操の実施状況の確認と未実施地区の解消
- ・ふれあいカフェの実施状況の確認と未実施地区の解消
- ・既存のサークル活動の周知と参加促進
- ・声掛け・見守り活動の推進と住民参加の促進
- ※地域住民からの要望の収集や『ささえ愛橋下条』からの情報発信
- ・「橋下条地域だより」を活用し『ささえ愛橋下条』の活動状況やトピックスを発信

3 やってみました！ご報告

活動事例

★さらさらか射水100歳体操を実施していない町内会に開催を働きかけました。その結果、令和4年11月から新たに大白町内会で週1回の100歳体操が開催されています。



★フレイル対策として、各町内会公民館にエアロバイク、ステッパーを設置。また、新しく100歳体操を始める町内会にリストバンドを配布しました。



★地域振興会や他の組織と連携してカローリングの練習会を実施。コミュニティセンターで希望者を募って試合を楽しみました。





射水市 地域支え合いネットワーク事業

事業の概要

「射水市地域支え合いネットワーク事業」は、地域の皆さんが、いつまでも安心して暮らし続けられる地域を目指して、地域の課題を地域全体で共有し考える、**地域の皆さんによる、地域の皆さんのための事業**です。

子どもから高齢者まで見守りが必要な方たちを、「困ったときはお互い様」の気持ちで、**他人事ではなく我が事として、助け合い・支え合い**ができる地域の**つながり**を作ります。

目指すもの

1 **高齢者の健康寿命を伸ばそう**



2 **要支援者の重度化を防ごう**



3 **見守りあい、助けあいができる地域を維持しよう**

目標（目指す地域像）

いつまでも安心して暮らし続けられる地域



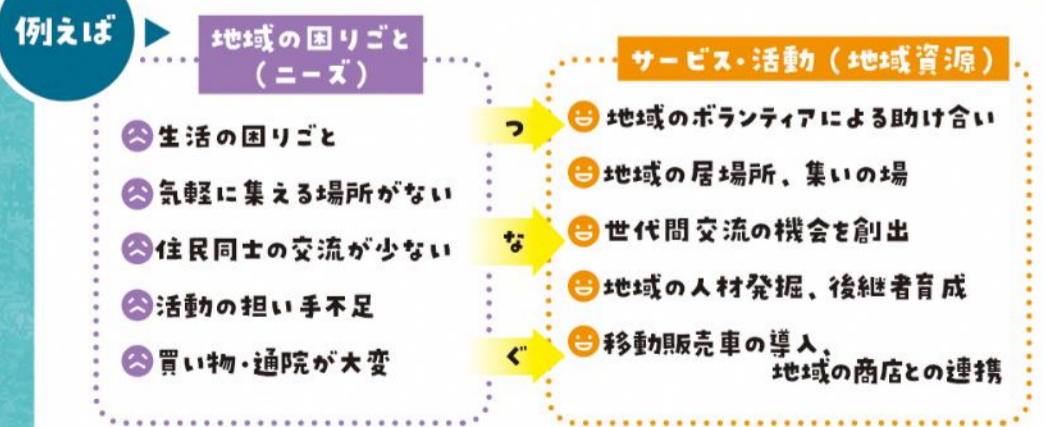
あなたの地域にもいます！

地域での支え合いの仕組みづくりを

「生活支援コーディネーター」が
お手伝いします！

どんな人？
生活支援コーディネーターは、**人と人、人と地域を「つなぐ」役割を持つ人**です。

具体的な役割
● 地域内の各種団体との連絡調整をする
● 地域の困りごと（困っている人）を適切な**地域資源**（地域の居場所や福祉サービス）につなげる など。



編集後記

橋下条地区の地域支え合いネットワーク事業は令和3年3月に申請、地域振興会の主導で第3層コーディネーター7名を選任して、メンバーで『ささえ愛橋下条』を結成し、活動を開始しました。

メンバーが集い、7月から資源マップの作製に取り掛かり、9月にはアセスメントシートの作成、11月には住民アンケートの実施と集計、翌令和4年6月には地域課題会議の開催、と駆け足で過ぎた1年でした。

その中で得られた、地域の『安心安全』『将来』『サービス』『交流』というキーワードを踏まえ、課題・問題に対処を始めたところです。

令和4年11月に大白町内会の協力を得て週1回の100歳体操を始動しました。毎回20名前後と、当方が想定していたより多くの方の参加があり、感激しているところです。

このように、ようやく地域に向き合った活動がスタートしたばかりです。これからもいろいろなテーマで、住民の皆さんが楽しく住み、暮らせるような地域作りができれば幸いです。

今後も市・地域包括支援センター・地域振興会や各種団体のメンバー、また地域の方々と共にいろいろな活動ができるよう頑張っていきたいと思えます。

ささえ愛橋下条 代表 金瀬 伸一

橋下条 地域の担当は…

小杉南地域包括支援センター
TEL : 0766-56-8725 FAX:0766-56-8231
所在地：射水市中太閤山18丁目1番地2（特別養護老人ホーム太閤の社内）

「私たちもお手伝いします！」



射水市地域福祉課
TEL : 0766-51-6625 FAX:0766-51-6657
所在地：射水市新開発410番地1